

決算報告

2021年12月期第2四半期

2021年1月1日～6月30日

2021.8.5



住友ゴム工業株式会社
SUMITOMO RUBBER INDUSTRIES, LTD.

第一章

2021年第2四半期決算概要と通期業績予想



経済環境

新型コロナウイルス感染症の影響により
依然として不透明な状況
経済全体としては持ち直しの動きが続いているものの
一部で弱さ



原材料

天然ゴム、石油系原材料の相場価格上昇



為替

ドルやその他通貨上昇、円安進行

億円

	2021年 1-3月		2021年 4-6月		2021年 1-6月		1Q時予想 2021年 1-6月	2020年 1-6月
		前年 同期比		前年 同期比		前年 同期比		
売上収益	2,137	112% 229	2,264	152% 771	4,401	129% 1,000	4,300	3,400
事業利益 (率) ※1	162 (7.6%)	569% 134	139 (6.1%)	- 190	301 (6.8%)	- 324	220 (5.1%)	△23 -
営業利益 (率)	156 (7.3%)	566% 128	130 (5.7%)	- 187	286 (6.5%)	- 315	200 (4.7%)	△30 -
四半期利益 ※2	107	- 141	98	- 158	205	- 298	150	△93

※1.事業利益 : 売上収益 - (売上原価+販売費及び一般管理費)

昨年度の会計方針の変更により、2020年第1四半期および2019年の事業利益を修正しております。

※2.四半期利益 : 親会社の所有者に帰属する四半期/当期利益

当資料では全頁にわたり上記※1,2を適用しております。

2021年1-6月 セグメント別 連結売上収益・事業利益

住友ゴムグループ

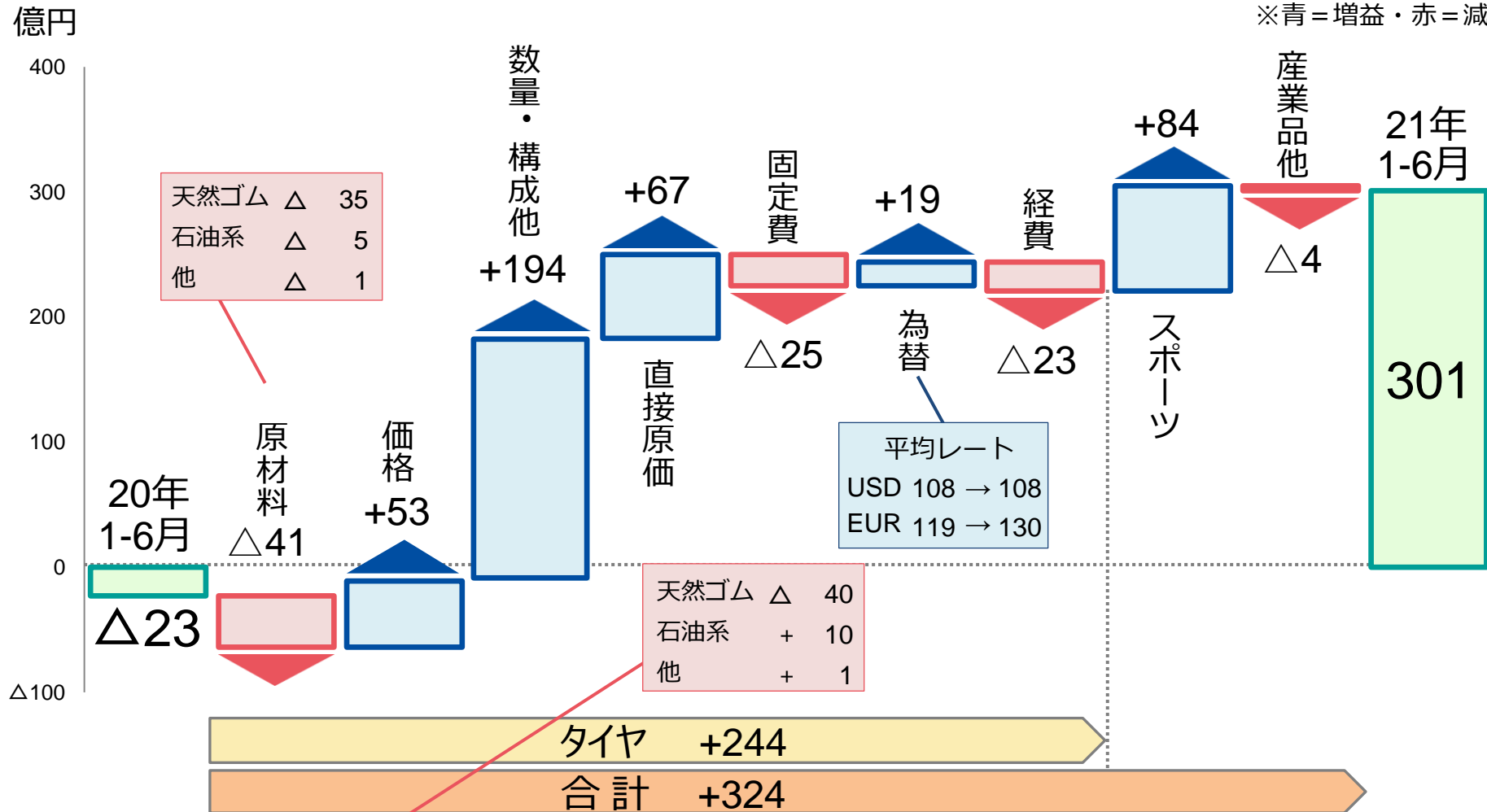
億円

	2021年 1-3月		前年 同期比		2021年 4-6月		前年 同期比		2021年 1-6月		前年 同期比		1Q時予想 2021年 1-6月	2020年 1-6月
	売上 収益	タイヤ	1,803	110%	1,890	148%	3,693	127%	3,635	2,908				
スポーツ		233	134%	281	225%	514	172%	460	298					
産業品他		101	98%	93	102%	194	100%	205	194					
合計		2,137	112%	2,264	152%	4,401	129%	4,300	3,400					

事業 利益	タイヤ	131	559%	103	-	235	-	180	△9
	スポーツ	25	-	31	-	55	-	30	△29
	産業品他	6	66%	5	85%	11	73%	10	15
	合計	162	569%	139	-	301	-	220	△23

2021年1-6月 連結事業利益 増減要因イメージ

※青 = 増益・赤 = 減益



	原材料	価格	数量・構成他	直接原価	固定費	為替	経費	スポーツ	産業品他	合計
1Q時予想	$\Delta 29$	29	157	76	$\Delta 29$	18	$\Delta 33$	59	$\Delta 5$	243
19年 \rightarrow 20年	107	6	19	3	12	$\Delta 24$	34	$\Delta 1$	5	$\Delta 190$ ※

※コロナ影響 $\Delta 351$ を含みます



経済環境

新常態の中で緩やかな経済活動の回復が期待される
ただし、足元では新型コロナウイルス感染症の再拡大による経済環境の悪化リスクがある



原材料

天然ゴム、石油系原材料の相場価格上昇傾向継続



為替

ドルやその他通貨、円安のまま推移

億円

	今回予想 2021年	前期実績 2020年	前期比
売上収益	9,300	7,908	118%
事業利益 (率)	550 (5.9%)	434 (5.5%)	127%
営業利益 (率)	520 (5.6%)	387 (4.9%)	134%
当期利益	355	226	157%

1Q時予想 2021年
9,100
500 (5.5%)
470 (5.2%)
330

今回予想 2021年 7-12月	前年 同期比
4,899	109%
249 (5.1%)	55%
234 (4.8%)	56%
150	47%

ROE	7.5%	4.9%
ROA ※	5.4%	4.3%
D/E Ratio	0.6	0.6

7.0%
5.0%
0.6

※ROA : 「事業利益」 ÷ 「総資産」

億円

		今回予想 2021年	前期実績 2020年	前期比
売上 収益	タイヤ	7,940	6,799	117%
	スポーツ	950	703	135%
	産業品他	410	407	101%
	合計	9,300	7,908	118%

1Q時予想 2021年
7,790
865
445
9,100

今回予想 2021年 7-12月	前年 同期比
4,247	109%
436	108%
216	101%
4,899	109%

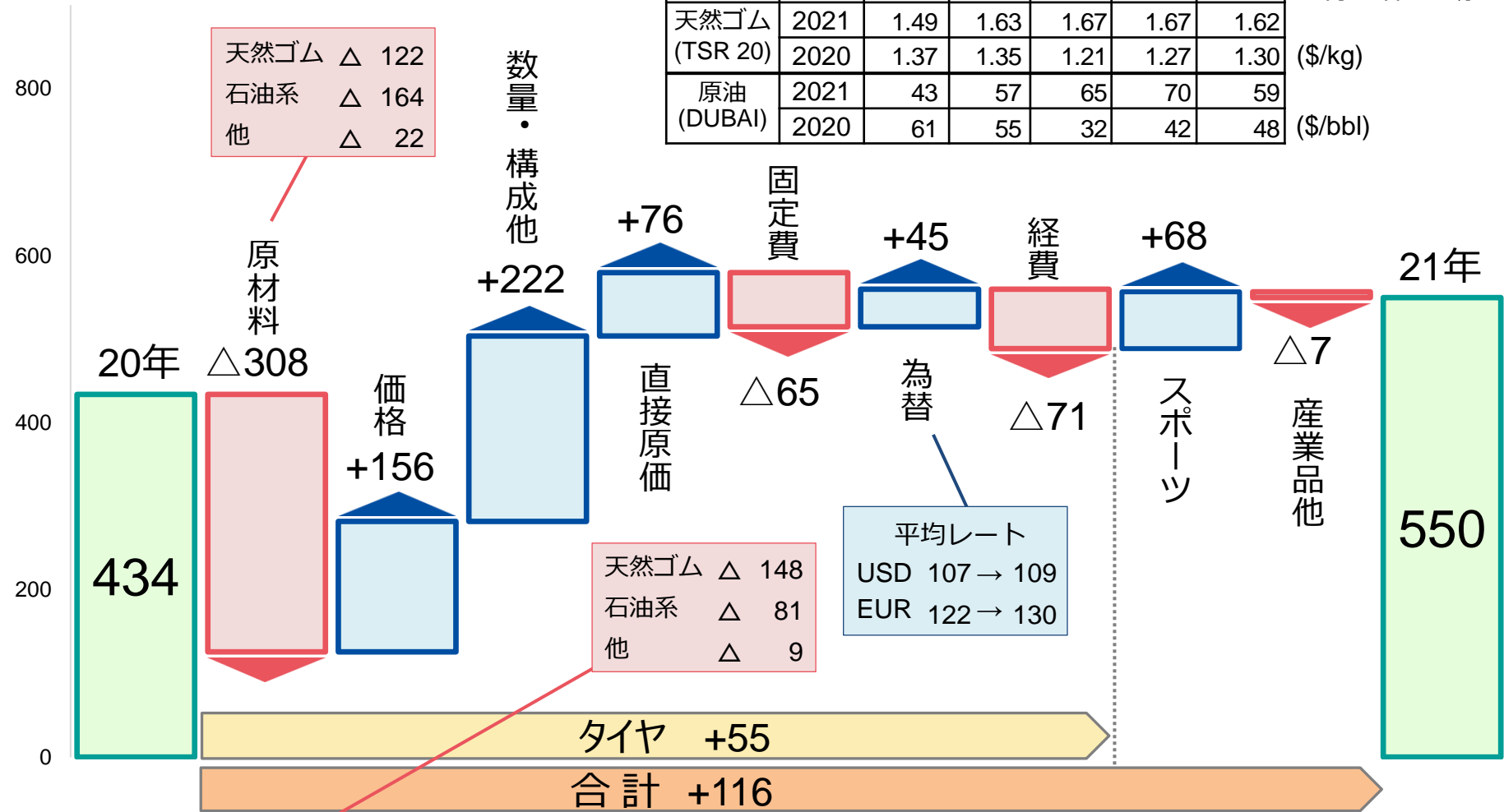
		今回予想 2021年	前期実績 2020年	前期比
事業 利益	タイヤ	465	409	114%
	スポーツ	60	△7	-
	産業品他	25	32	79%
	合計	550	434	127%

430
35
35
500

230	55%
5	22%
14	83%
249	55%

2021年度 連結事業利益 増減要因イメージ

億円



天然ゴム	$\Delta 122$
石油系	$\Delta 164$
他	$\Delta 22$

天然ゴム	$\Delta 148$
石油系	$\Delta 81$
他	$\Delta 9$

平均レート	
USD	107 → 109
EUR	122 → 130

購買単価		1Q	2Q	3Q	4Q	Ave.
天然ゴム (TSR 20)	2021	1.49	1.63	1.67	1.67	1.62
	2020	1.37	1.35	1.21	1.27	1.30
原油 (DUBAI)	2021	43	57	65	70	59
	2020	61	55	32	42	48

※青 = 増益・赤 = 減益

(\$/kg)

(\$/bbl)

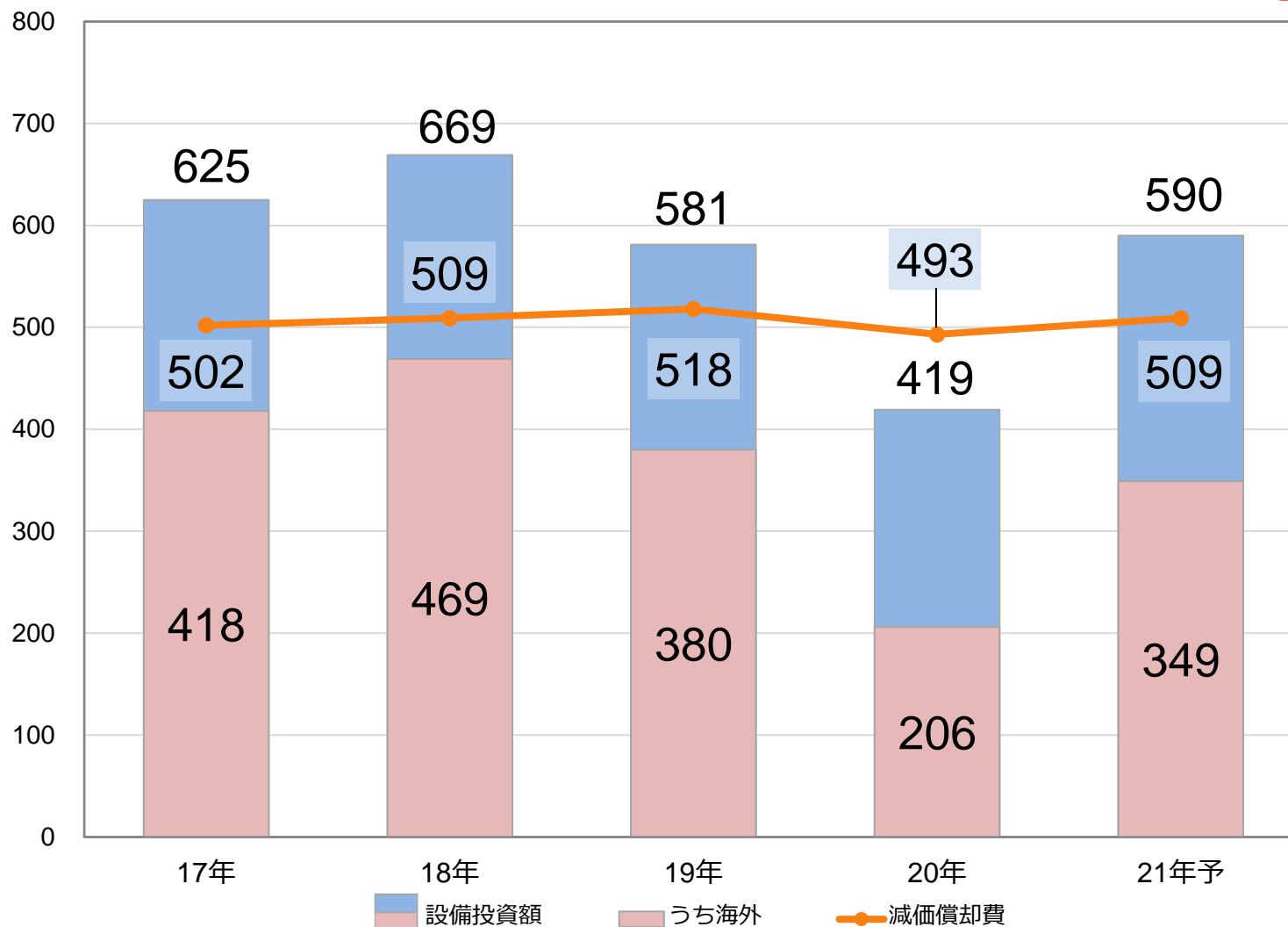
	原材料	価格	数量・構成他	直接原価	固定費	為替	経費	スポーツ	産業品他	合計
1Q時予想	$\Delta 238$	62	214	81	$\Delta 64$	48	$\Delta 82$	42	3	66
19年→20年	261	$\Delta 1$	67	22	9	$\Delta 44$	88	16	5	$\Delta 110$ ※

※コロナ影響 $\Delta 533$ を含みます

設備投資額、減価償却費(有形)の推移

年初予想から
変更ありません

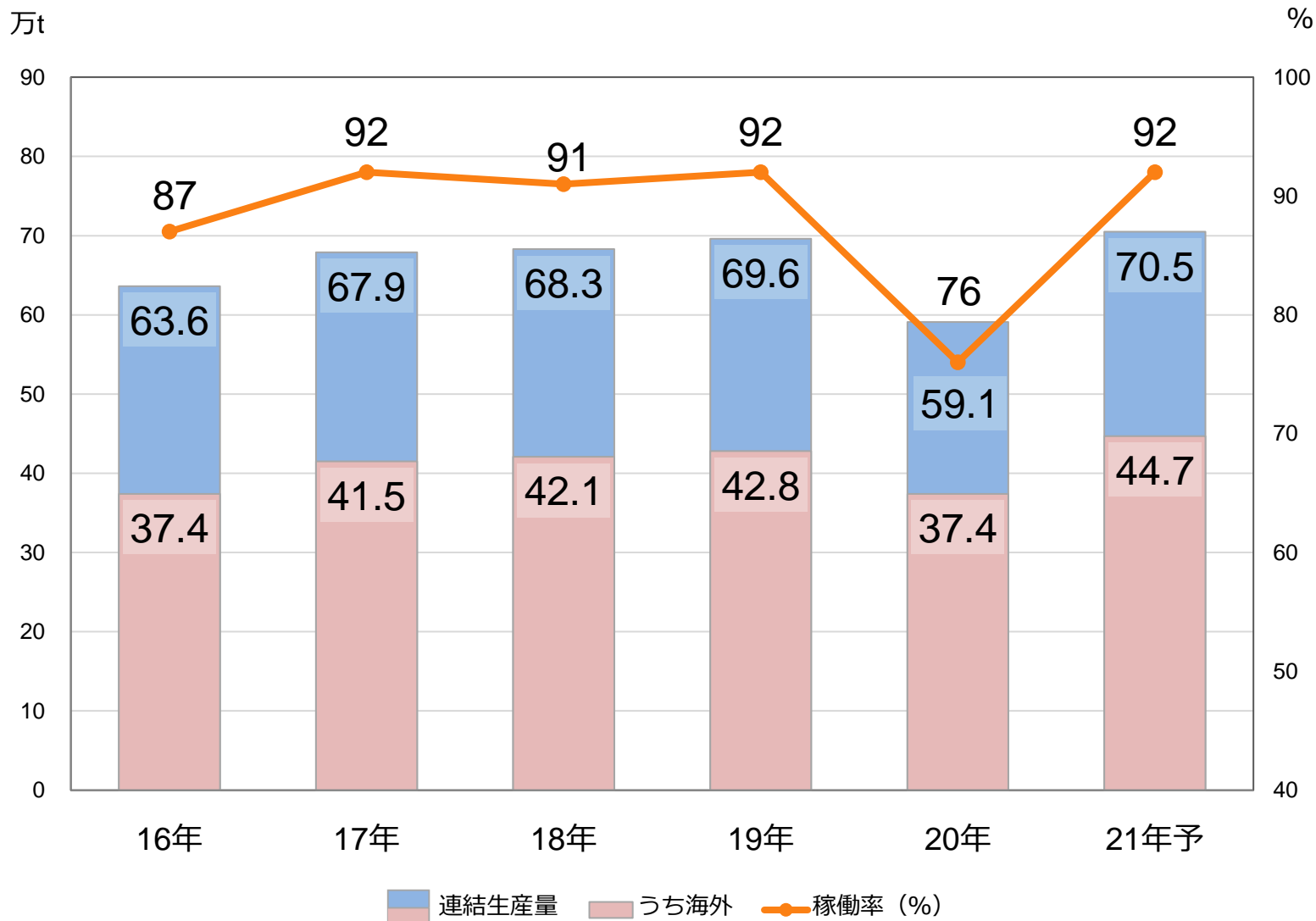
億円



※2019年よりIFRS16号（リース）適用の影響を含みません。

タイヤ設備稼働率、生産量の推移

対前年 106% 107% 101% 102% 85% 119%





2021年12月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年8月5日
上場取引所 東

上場会社名 住友ゴム工業株式会社
 コード番号 5110 URL <https://www.srigroup.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 悟
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経理部長 (氏名) 大川 直記 TEL 078-265-3000
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日 配当支払開始予定日 2021年9月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上収益	事業利益	営業利益	親会社の所有者に 帰属する四半期利益	四半期包括利益 合計額
	百万円 %	百万円	百万円 %	百万円 %	百万円

	前年同期	前年同期	前年同期	前年同期
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年12月期第2四半期	39,918	△26,448	△11,198	79,334
2020年12月期第2四半期	28,157	△25,448	28,272	88,341

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2021年12月期	—	25.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	30.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

第二章

2021年上半期事業活動と

サステナビリティ長期方針について



タイヤ、スポーツともに順調

タイヤ事業

- ・ 当社販売本数は回復基調が続き、欧米を中心に順調
- ・ 原材料、海上運賃の高騰に伴い、各エリアで値上げを実施
- ・ 各地の市場特性に合った高機能タイヤの供給に注力

スポーツ事業

- ・ 世界的なゴルフ市場拡大に伴い、スポーツ事業はV字回復
- ・ 当社ゴルフ用品は北米を中心にグローバルに拡大



市況の回復を上回る実績を目指し
各事業、各エリアで取り組んだ

好調なSUV用中心にFALKENを拡販 値上げも実施し単価アップ

SUV用タイヤ

- ・「ワイルドピーク」シリーズは好調を継続
- ・コンテナ不足もあり旺盛な需要に供給が追いついていない



**WILDPEAK
A/T 3W**



二輪車用タイヤ

- ・ソーシャルディスタンスをとれるアクティビティとして需要が拡大し増販



**GEOMAX
MX33**



販売価格改定を今年に入り3回にわたり実施

原材料高や海上運賃高騰にともない各カテゴリーで値上げ

旺盛な需要に応えるため、現地の生産能力増強を決定

- 当社タイヤ販売本数は順調で、2021年上期は2019年上期比で増加
- 広大な国土の物流を支えるインフラとして、トラック・バス用タイヤの需要が旺盛
- ブラジル工場はフル稼働の状況
- 小売店の購入意向調査で
DUNLOPブランドがNo.1※を獲得

※OficinaBrasil 紙調査（2020年12月）



今後も需要拡大が続くブラジルで、
総額約235億円の増産投資を決定
(乗用車用、トラック・バス用タイヤ)
地産地消化を進める



FALKEN好調 市販用は2019年上期比で数量増

- ・アゼニス FK510が雑誌評価※で
総合1位を獲得
販売にも好影響



FALKEN

**AZENIS
FK510**

※ 欧州最大の自動車連盟である
『ADAC』(ドイツ自動車連盟)が
2021年2月に発表したタイヤテスト結果

- ・市販用タイヤの値上げを2回に
わたり実施

ミッチェルディーバー社の 販売網拡大(英国)

- ・小売店舗数を拡大しながら拡販
20年末 157店舗
21年末 172店舗 + α
- ・当社品の販売シェア増加

ニルブルクリンク24時間レースで
FALKENモータースポーツチームが
総合4位入賞



コロナ影響から先行回復した市況を背景に 高機能タイヤを拡販

市 販 用

- ・ オンライン受注システムを活用し販売増
- ・ 構成も高インチ化

SUV用新商品「グランドトレック PT5」を発売（5月）

- ・ 中国市販用商品として初めてサイレントコア※を搭載、高付加価値品として好評。

※ サイレントコア(特殊吸音スポンジ)
タイヤ内部の空気振動に起因する
ノイズを吸収することで高い静粛
性能を実現する独自技術



GRANDTREK PT5



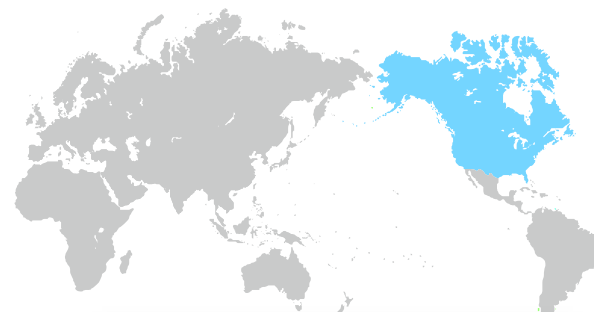
通期での市販用タイヤ販売本数は2019年比で増加を見込む

ゴルフ用品市場の急回復に加え 契約選手の活躍もありV字回復

松山英樹選手の活躍で、グローバルに
SRIXONのクラブ・ボールが好調

世界最大の北米市場で、
販売が大きく伸長

SRIXON®

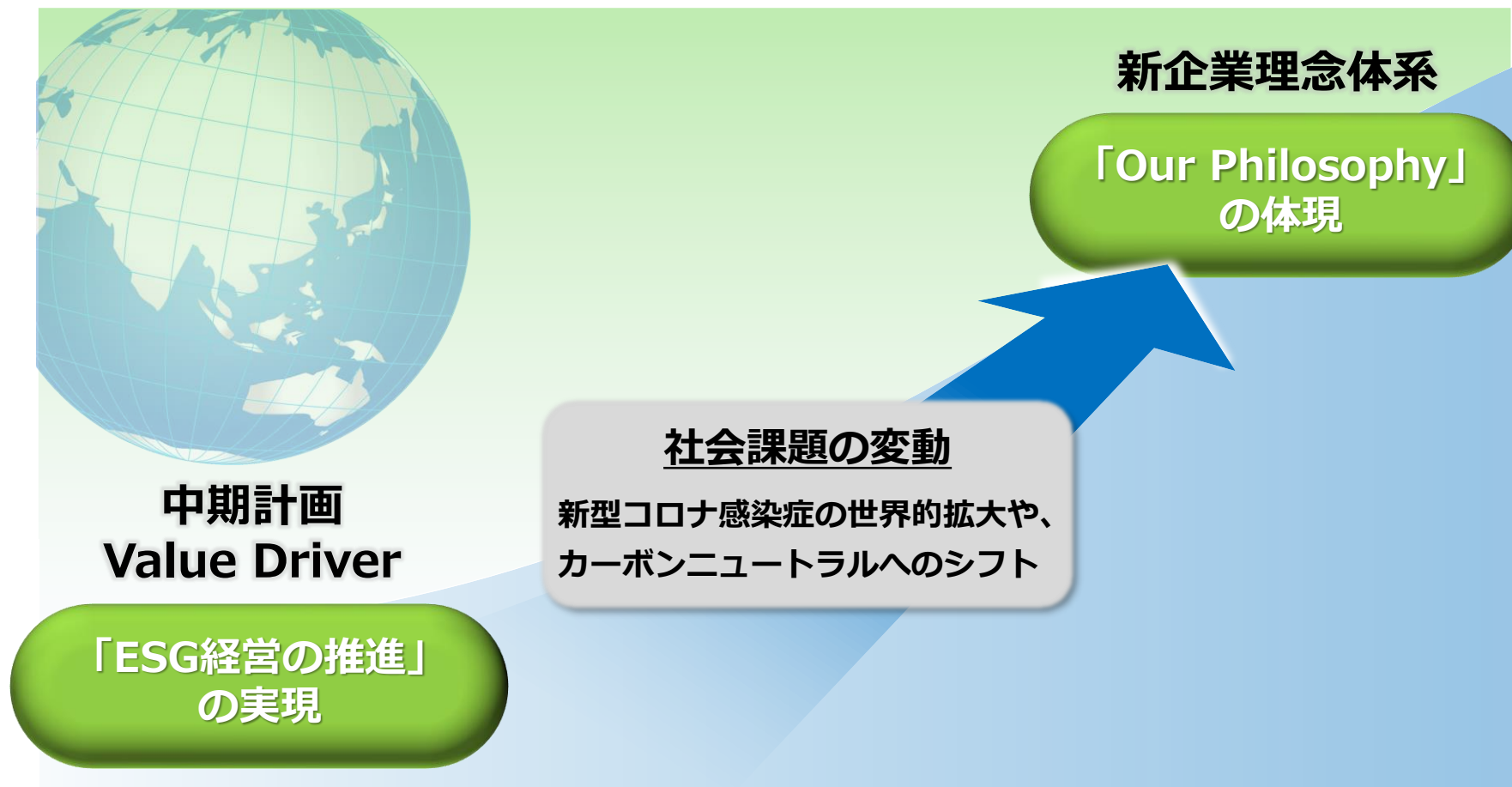


ゴルフ用品が牽引し、スポーツ事業全体で
売上収益は2019年比12%増を見込む

第二章

2021年上半期事業活動と

サステナビリティ長期方針について



2050年を見越した長期的視点の計画が必要

事業活動を通じ、社会と企業の持続的成長を目指す





はずむ未来チャレンジ2050

Environment

地球環境と
安全を守るために

- ・製品イノベーション
- ・カーボンニュートラル
- ・資源循環
- ・水資源
- ・持続可能な原材料

Social

社会と共生
するために

- ・健康と安全
- ・組織風土・文化醸成
- ・多様性の尊重と調和
- ・人権の尊重
- ・サプライチェーンマネジメント

Governance

経営基盤を
強固にするために

- ・コーポレートガバナンスの強化
- ・コンプライアンスの徹底

2050年
チャレンジ
目標テーマ

施策

- ・スマートタイヤコンセプトの具現化
- ・テニスボールの長寿化と廃棄ロス削減
- ・サステナビリティ商品自社基準の制定
- ・カーボンニュートラル（スコープ1,2）
- ・水素の活用
- ・バイオマス、リサイクル原材料比率の拡大

- ・労働安全衛生の徹底
- ・健康経営の推進
- ・リーダーシップ開発
- ・ダイバーシティ&インクルージョンの推進
- ・女性活躍の推進
- ・人権マネジメント体制の構築
- ・第三者評価機関の活用

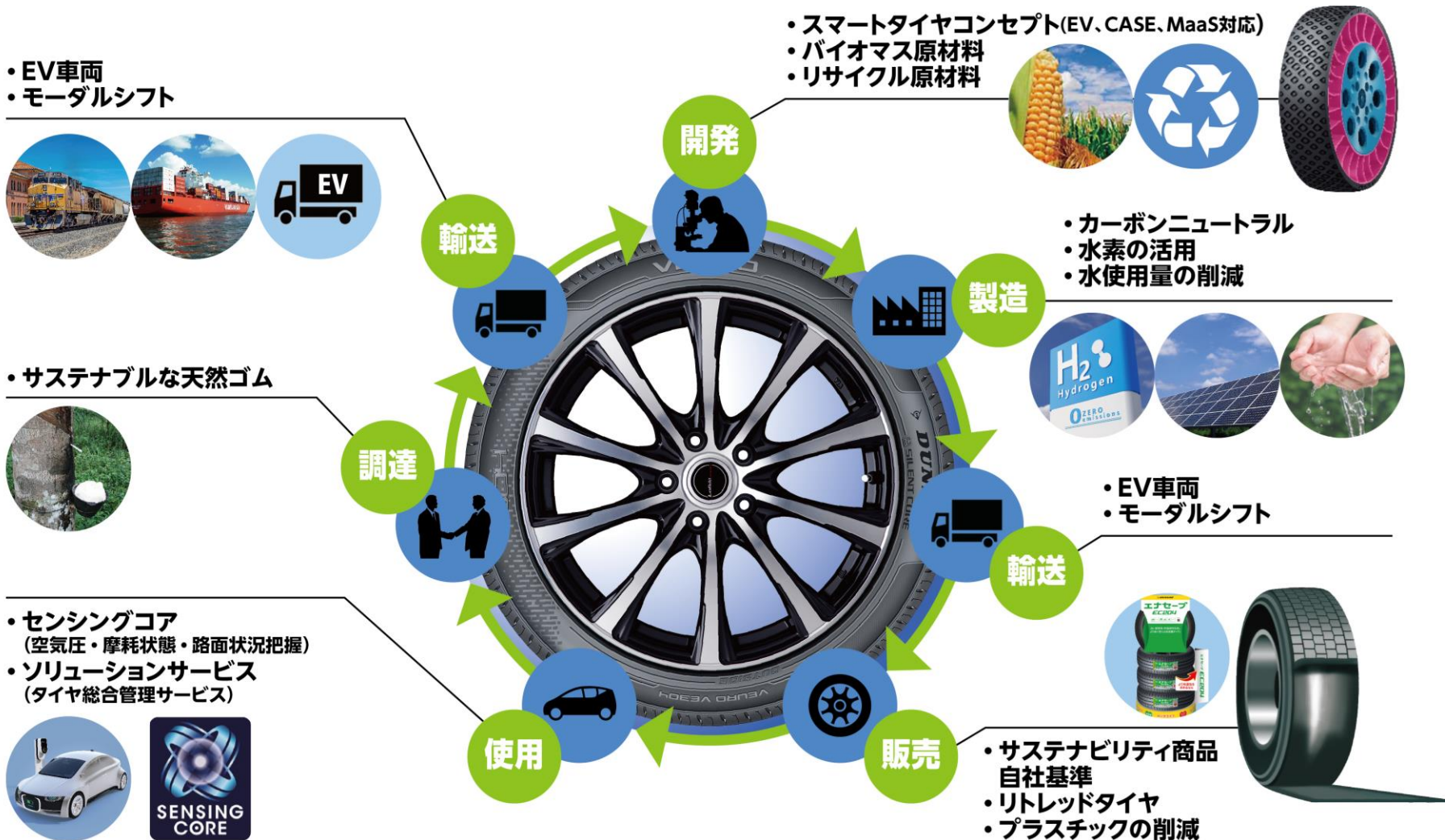
- ・取締役会の多様性向上
- ・ガバナンスの実効性向上
- ・税の透明性
- ・Our Philosophyの浸透



GENKI（元気）活動
（社員ボランティア活動）



循環型タイヤビジネスの確立を目指す



① バイオマス原材料の活用

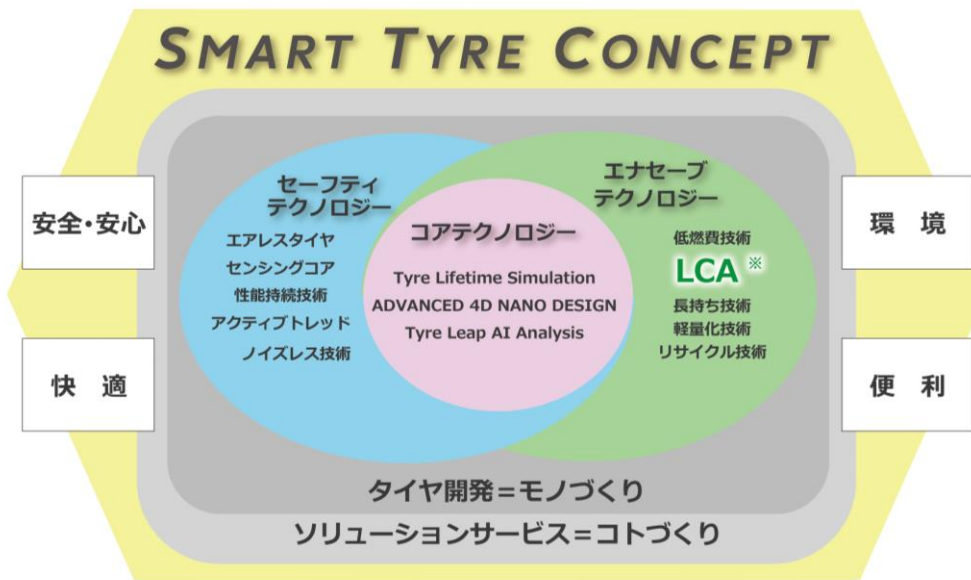


② 次世代エネルギー「水素」の活用



③ サステナビリティ商品自社基準の制定





安全で環境に優しい
サステナブルなタイヤ開発を
LCA※を基軸としてさらに加速

※ ライフサイクルアセスメント(Life Cycle Assessment)は、商品やサービスの原料調達から、廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクル全体を通しての環境負荷を定量的に評価する手法のこと。



スマートタイヤコンセプト全技術完成

コンセプトタイヤ※

空気入りタイヤ エアレスタイヤ

発売する新商品の100%に
スマートタイヤコンセプトを搭載

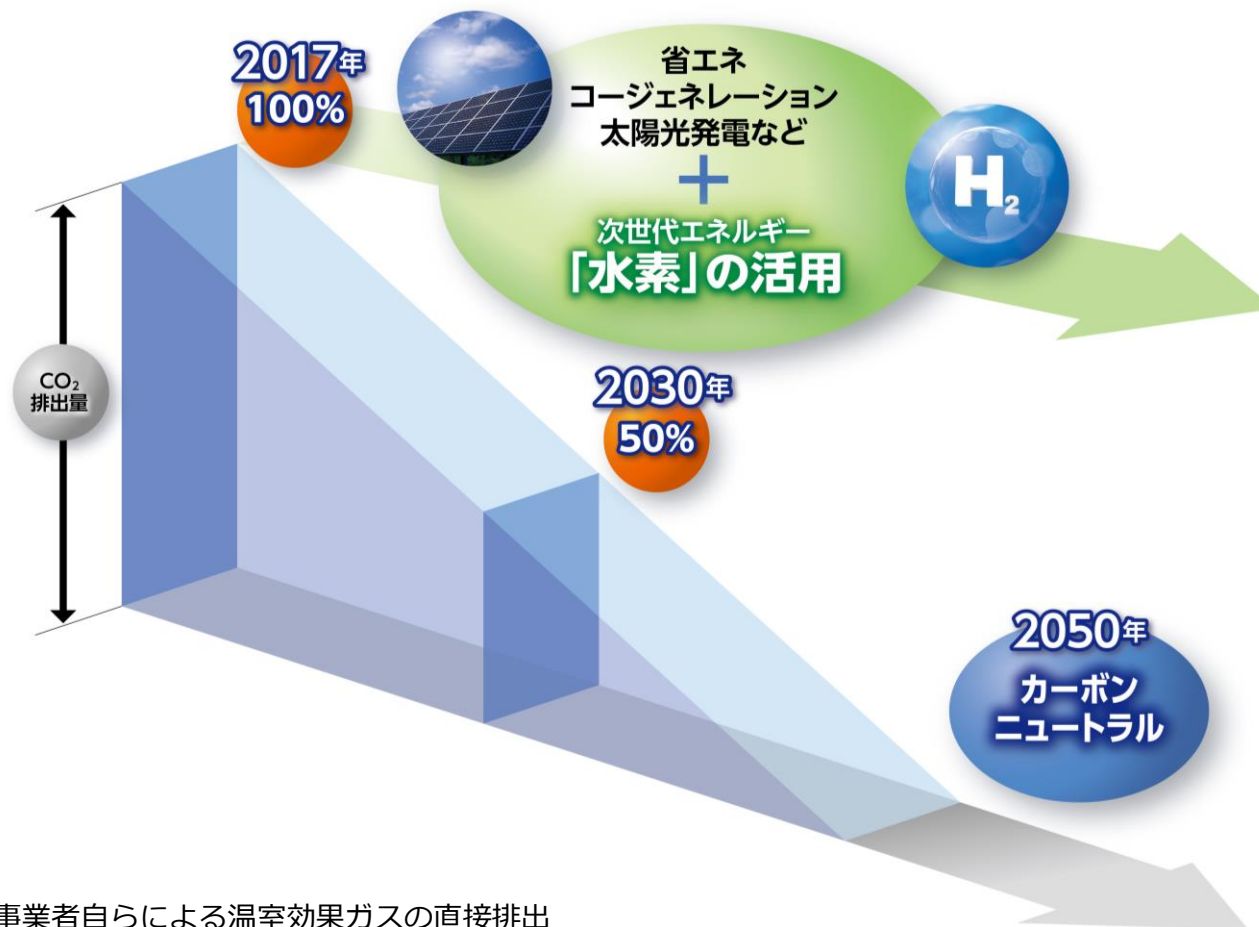
空気入りタイヤ
スマートタイヤコンセプト搭載

エアレスタイヤ
スマートタイヤコンセプト搭載

※2029年までに必要とされる性能に対して、エナセーブテクノロジーとセーフティテクノロジーの完成された技術を適切に組み合わせたコンセプトタイヤ



工場から排出するCO₂を2030年に50%削減、 2050年にカーボンニュートラルを目指す



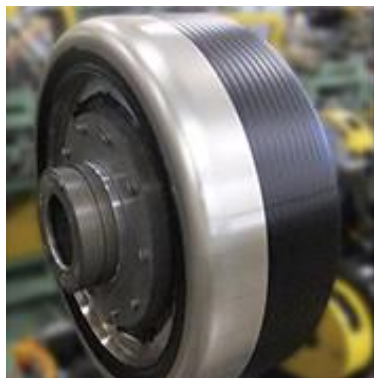
※ Scope 1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出

Scope 2：他社から供給された電気の使用に伴う間接排出

福島県・白河工場で水素ボイラー導入を計画(NEDO※助成事業)

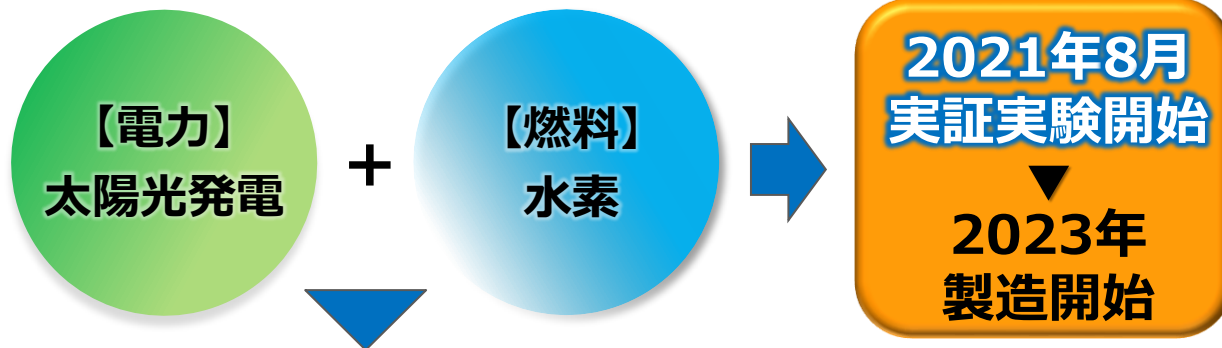
※国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

高性能タイヤを製造
する生産システム



NEO-T01

NEO-T01の全工程をクリーンエネルギー化



「製造時CO₂排出ゼロタイヤ」を目指す

福島県から国内工場、そして海外工場へ展開を検討



タイヤ、スポーツ、産業品全事業で
住友ゴムサステナビリティ商品(SSP)として自社基準を制定
サプライチェーン全体で循環型社会への貢献を目指す



プラスチック削減

タイヤラベル、商品包装材、販促ツール等の
プラスチック使用量を2030年までに40%削減※

※2019年比



タイヤラベル
持ち帰り袋
店頭POP等



テニスボール
PET缶・蓋
包装材等



包装材等

「TCFD(気候関連財務情報開示タスク
フォース)」に2021年6月賛同



サステナビリティインデックスへの
組み込み



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan

ゴムの先へ。はずむ未来へ。



住友ゴム